



ユーザマニュアル

PCA 建設業会計 DX 版 処理手順

2025/07/17

株式会社 HAYAWAZA

1. 内容

1. 内容	1
2. 事業所データの作成	2
2.1. 消費税情報の確認	2
2.2. マスター出力	5
3. 事業所の作成	7
3.1. 事業所データの新規作成	7
3.2. 事業所データの設定	14
4. 取引先について	17
5. 工事・工種コードの設定	19
6. 書き出し準備	21
7. 仕訳データの取込	29

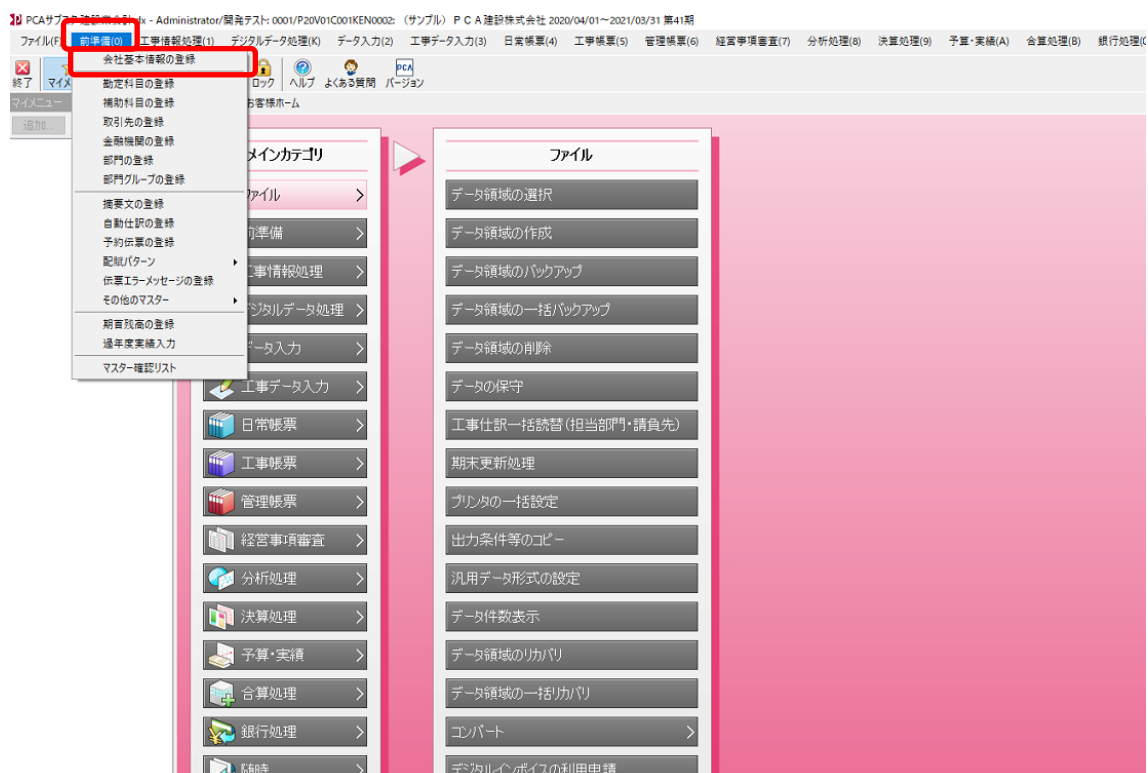
2. 事業所データの作成

2.1.消費税情報の確認

HAYAWAZA で事業所データの作成を行う前に、PCA 建設業会計 DX で作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目、補助科目、部門、取引先、工事、工種のマスターの出力を行います。

※PCA 建設業会計 DX 版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスター登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

「前準備」→「会社基本情報の登録」を選択します。



法人情報および「基本情報」のタブから以下の項目を確認します。

会社基本情報の登録

ファイル(F) 編集(E) 設定(S) 表示(V) ヘルプ(H)

閉じる 登録 印刷等 ヘルプ

会社情報(N):

コード 0001

会社名 (サンプル) P C A 建設株式会社

フリガナ (サンプル) PCAケンカブシカガイシャ

会計年度(T):

会計期間 令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月 31日

決算期数 41

前年度領域 領域の選択...

原価予算・発注管理 収益認識会計基準

基本情報 桁数設定 消費税情報 インボイス情報 管理情報 承認設定 電子帳簿保存 月度範囲 名称設定 工事仕訳形式 計算方法等

使用する暦(C) ☐ 西暦 ☒ 和暦

部門管理(B) ☐ 管理しない ☐ 全科目 ☒ 損益計算書科目

工種管理(P) ☐ 管理しない ☒ 管理する

工種管理は、原価予算・発注の管理方法が「工種で管理」の場合のみ「管理しない」に変更できます。

住所情報(A):

郵便番号 102-8171

住所 1 東京都千代田区富士見 1-2-2 1

住所 2

住所 1 フリガナ トウキョウトチヨウダイケンクサミ1-2-21

住所 2 フリガナ

TEL 03-5211-2700

FAX

マイナンバー(M):

法人番号

連絡請求書発行事業者(J):

事業者登録番号 T 確認

F1 ヘルプ F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 参照 F9 印刷等 F10 F11 F12 閉じる

任意の会社コードを数字のみ4桁で入力します。

「消費税情報」タブを選択し、以下の項目を確認します。

原価予算・発注管理 収益認識会計基準

基本情報 桁数設定 消費税情報 インボイス情報 管理情報 承認設定 電子帳簿保存 月度範囲 名称設定 工事仕訳形式 計算方法等

消費税情報(Z):

消費税管理 ☐ 免税事業者 ☐ 一般課税 (個別対応方式) 事業別指定...

☒ 簡易課税 ☒ 一般課税 (一括比例配分方式)

消費税自動計算 ☐ 税計算しない ☒ 内税自動計算 ☐ 外税自動計算

消費税端数処理 ☒ 切り捨て ☐ 切り上げ ☐ 四捨五入

HAYAWAZA で設定する消費税情報は、

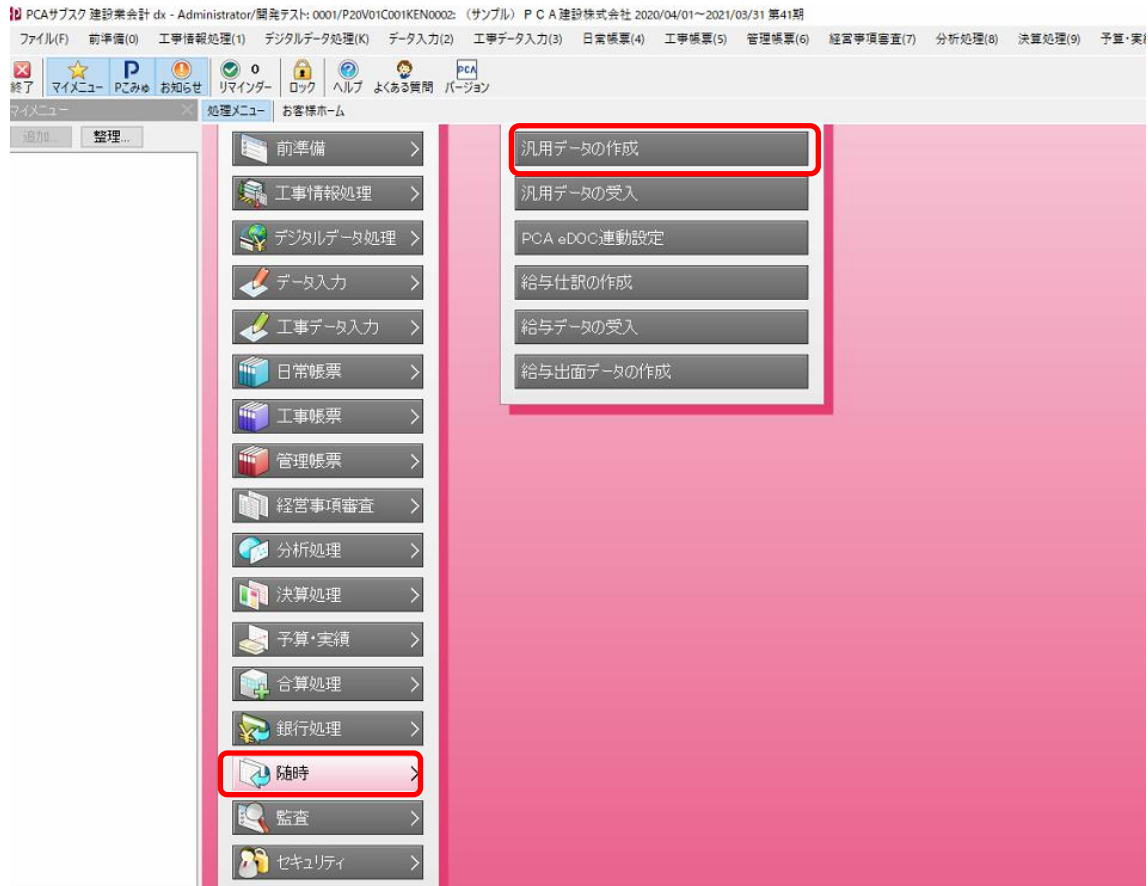
「課税方式」	： 免税事業者、一般課税、簡易課税
「仕入税額控除」	： 個別対応方式、一括比例配分方式
「税端数処理」	： 切り捨て、切り上げ、四捨五入
「経理方式」	： 税抜、税込
「事業区分」	： 第一種（卸売業）、第二種（小売業）、第三種（製造業等）、 第四種（その他）、第五種（サービス業等）、第六種（不動産業）

以上から該当するものを選択します。

消費税情報の確認が出来たら「勘定科目」、「補助科目」、「部門」、「取引先」、「工事」、「工種」のマスターの出力を行います。

2.2. マスター出力

マスターの出力は「随時」→「汎用データの作成」画面から選択します。

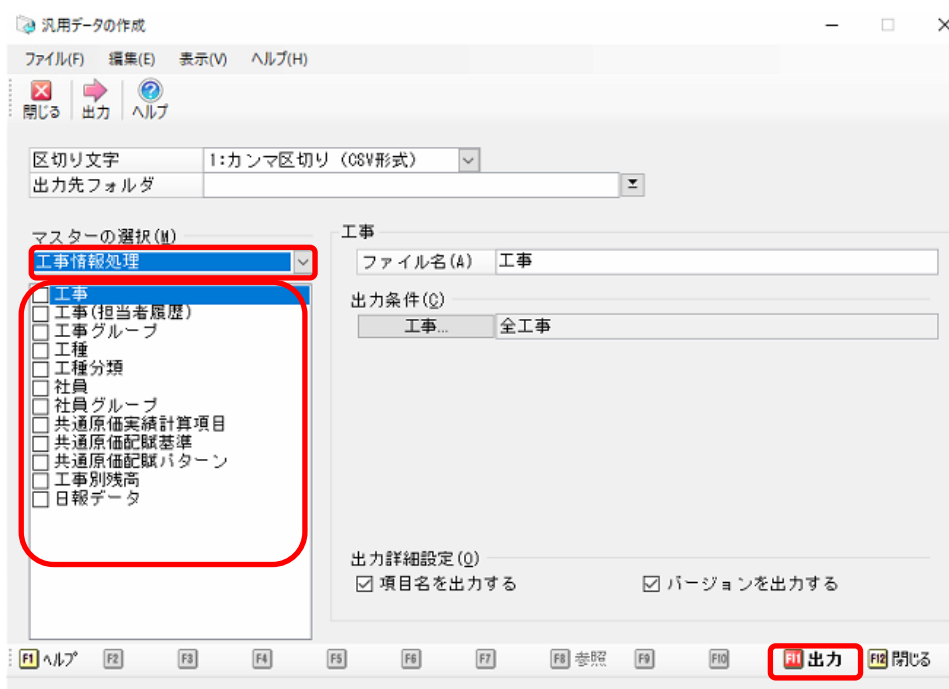


以下の画面が表示されたら、「勘定科目」「補助科目」「取引先」「部門」にチェックを入れて、出力先フォルダを指定し「出力」ボタンを選択します。



「出力先フォルダ」で指定したフォルダにファイル名「勘定科目（もしくは補助科目や部門）.txt」のファイルで出力されます。

「工事」「工種」のマスターを出力する場合は「マスターの選択」から「工事情報処理」を選択し、チェックをいれます。



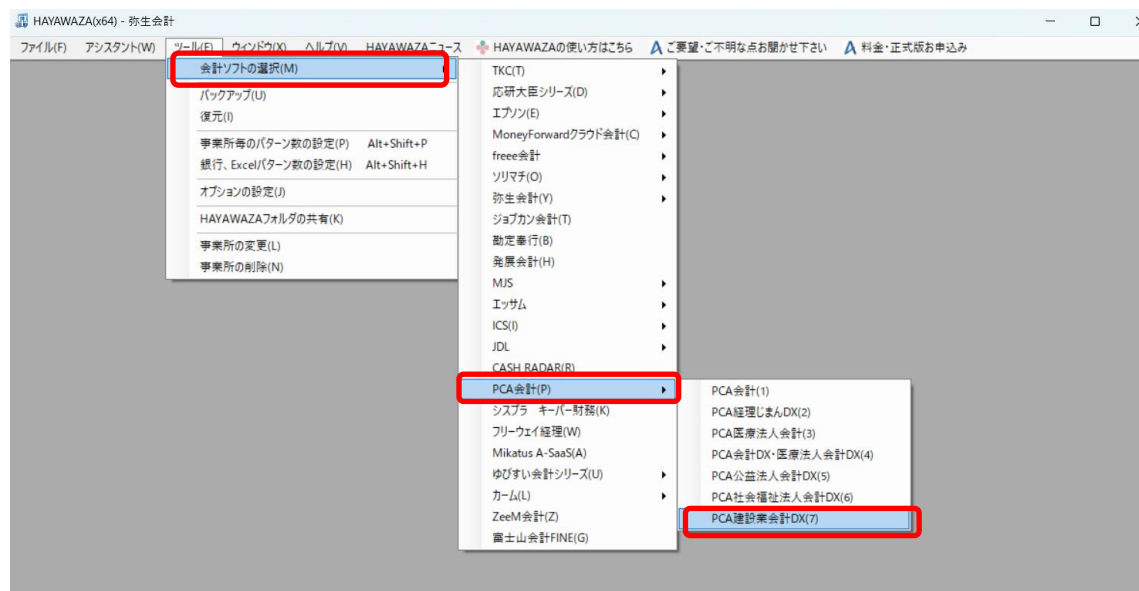
3. 事業所の作成

3.1. 事業所データの新規作成

HAYAWAZA を起動し、左上のタイトルバーが「PCA 建設業会計 DX」以外の場合、会計ソフトの変更をします。



「ツール」の「会計ソフトの選択」で「PCA 会計」→「PCA 建設業会計 DX」を選択します。



会計ソフトの変更を行うと、タイトルバーの表示が「PCA 建設業会計 DX」となります。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」から事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。

PCA建設業会計DX設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名	
決算期	会計期間
第 1 期	2025年 4月 1日 ~ 2026年03月31日
課税方式	
☒ 一般課税	☐ 簡易課税
☐ 免税事業者	
仕入税額 按分法	
☐ 一括比例配分方式	☒ 個別対応方式
端数処理	
☒ 切り捨て	☐ 四捨五入
☐ 切り上げ	
消費税自動計算	
☒ 内税	☐ 外税
☐ 計算しない	
事業区分	
☒ 第一種(卸売業)	☐ 第二種(小売業)
☐ 第三種(製造業等)	
☐ 第四種(その他)	☐ 第五種(サービス業等)
☐ 第六種(不動産業)	

 次へ(K) >

 キャンセル(C)

登録する会社名、決算期、会計期間、消費税情報を設定します。

PCA建設業会計DX設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名

HAYAWAZAPCA建設業会計テスト

決算期

第 11 期

会計期間

2025年 4月 1日 ~ 2026年03月31日

課税方式

☒ 一般課税 ☐ 簡易課税 ☐ 免税事業者

仕入税額 按分法

☐ 一括比例配分方式 ☒ 個別対応方式

端数処理

☒ 切り捨て ☐ 四捨五入 ☐ 切り上げ

消費税自動計算

☒ 内税 ☐ 外税 ☐ 計算しない

事業区分

☒ 第一種(卸売業) ☐ 第二種(小売業) ☐ 第三種(製造業等)
☐ 第四種(その他) ☐ 第五種(サービス業等) ☐ 第六種(不動産業)

次へ(K) >

キャンセル(Q)

会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZA で作成した事業所にパスワードを設定したい場合に設定を行います。「管理者のパスワードを設定する」にチェックをしてパスワードの入力して下さい。（不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい）

PCA建設業会計DX設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)

HAYAWAZAでは、事業所のデータのアクセスパスワードを設定することが可能です。
事業所のアクセスする「管理者」にパスワードを設定しますか？

☐ 管理者のパスワードを設定する

パスワードの設定

入力:

再入力:

 < 戻る(B)  次へ(K) >  キャンセル(C)

注意：

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。
詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。

管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると下記の画面が表示されます。
設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。

PCA建設業会計DX設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報

会社名: HAYAWAZAPCA建設業会計テスト

会計期間: 第1期(2025年04月01日 ~ 2026年03月31日)

消費税情報

課税方式: 一般課税

仕入税額 按分法: 個別対応方式

端数処理: 切り捨て

消費税自動計算: 内税

事業区分:

事業管理者パスワード

未設定

◀ 戻る(Y)

▶ 登録する(Y)

✕ キャンセル(Q)

登録されると完了画面が表示されます。

PCA建設業会計DX設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報

会社名: HAYAWAZAPCA建設業会計テスト
会計期間: 第1期(2025年04月01日 ~ 2026年03月31日)

消費税情報

仕入税額情報

早業管理

PCA建設業会計DX設定ウィザード

登録が完了しました。

OK

戻る(B) 登録する(Y) キャンセル(C)

「OK」をクリックすると、事業所で使用する、銀行もしくは Excel パターン数の設定画面になります。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excel パターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。

登録可能パターン数の設定

検索

表示オプション
☐ 繰越済の事業所も表示する

事業所名	決算期	会計期間	銀行パターン(登録/設定)	Excelパターン(登録/設定)
HAYAWAZAPCA建設業会計テスト	1	R.07/04/01-R.08/03/31	(--/0)	(--/0)

データベース名: HAYAWAZAPCA建設業会計テスト(1期).mdb

登録日時: 2025年07月17日 11時32分30秒

更新日時: 2025年07月17日 11時32分31秒

銀行パターン数の設定
0 0から36の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

Excelパターン数の設定
0 0から14の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

エクスポート(J) ファイルを選択して開く(K) 設定する(Y) キャンセル(N)

全事業所のパターン数をリセット(J)

全事業所の登録パターン数を更新する(K)

注意：

登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスは、銀行パターン、Excelパターンとも「10」となっております。

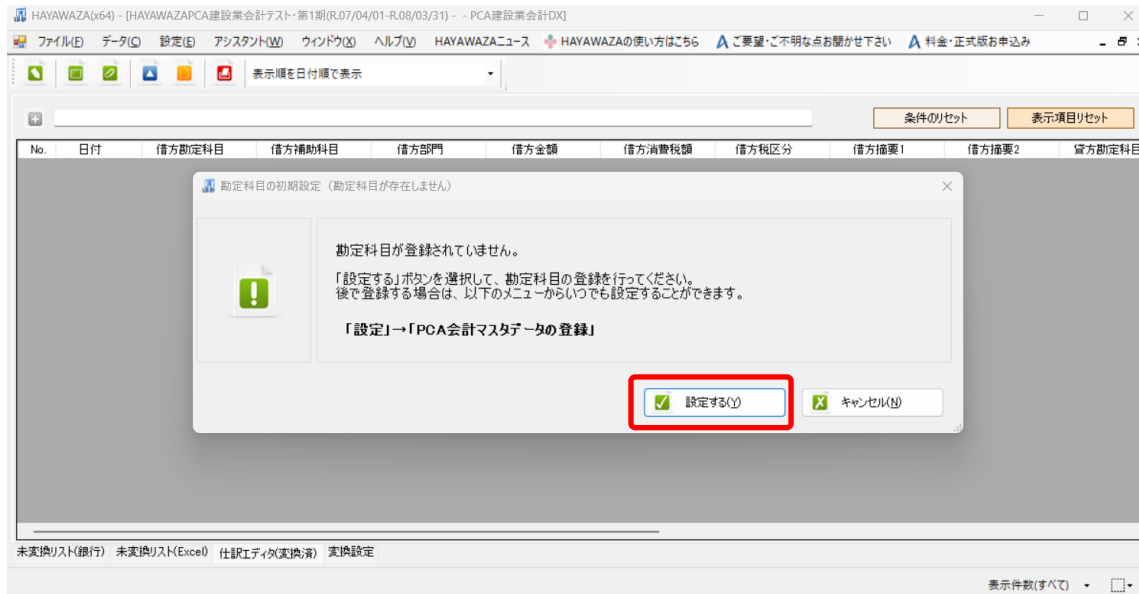
上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を入力し「設定する」ボタンをクリックすると、マスターファイルの登録画面になります。

3.2.事業所データの設定

事業所の作成およびパターン数の設定が完了すると以下の「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。

(マスター登録後は表示されなくなります。)



「設定する」を選択するとマスターデータの登録画面が表示されます。

先ほど出力した勘定科目、補助科目、部門、取引先、工事、工種のマスターファイルを画面上にドロップします。



データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスターデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスターファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

※補助科目は勘定科目を登録した後に登録を行ってください。

ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となりますので、必要なデータにチェックをつけます。

PCA建設業会計DXマスタファイル読み込み - マスタファイルの選択

以下の一覧から登録するファイルをチェックして、「登録」ボタンを選択するとマスタファイルの内容が登録されます。

ファイル一覧

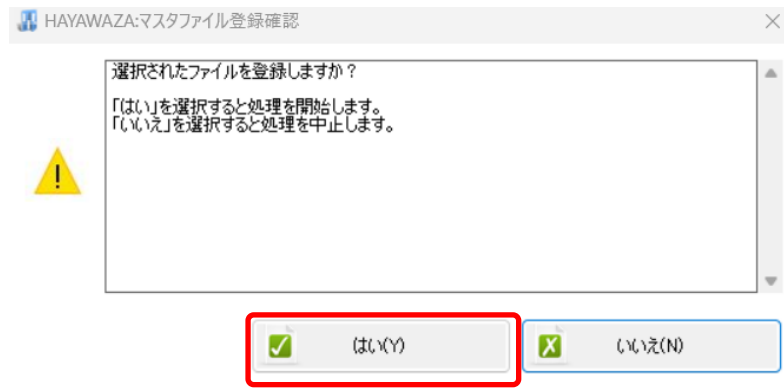
☒ (科目名称一覧)勘定科目

マスタ内容のプレビュー

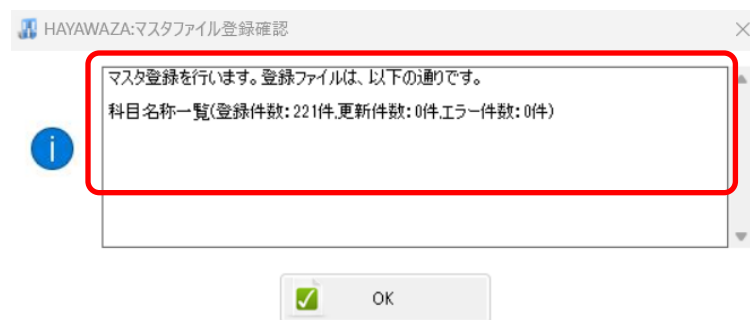
勘定科目属性	勘定科目コード	勘定科目名	加索引	勘定科目正式名	貸借区分	借
11110010	111	現金	ケンキン	現金	1	00
11110020	112	小口現金	コガチ	小口現金	1	00
11111010	121	当座預金	トウザゴ	当座預金	1	00
11111020	131	普通預金	フツウゴキ	普通預金	1	00
11111050	139	納税準備預金	ノウゼイ	納税準備預金	1	00
11111060	140	貯蓄預金	チゾクゴ	貯蓄預金	1	00
11111040	141	通知預金	ツウチゴキ	通知預金	1	00
11111070	142	他流動性預金	ソノタノリ	その他の流動性...	1	00
11112010	143	定期預金	テイキゴキ	定期預金	1	00
11112020	144	定期積金	テイキツミ	定期積金	1	00
11112050	147	他固定性預金	ソノタノコ	その他の固定性...	1	00

< 戻る(J) 登録する(Y) X 閉じる(C)

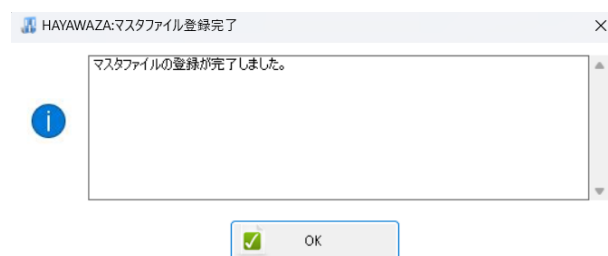
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスターファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスター登録が完了し、以下の画面が表示されます



すべてのマスターの登録が完了したらパターンの登録、設定を行っていきます。

※詳しくはマニュアルを参照ください。

4. 取引先について

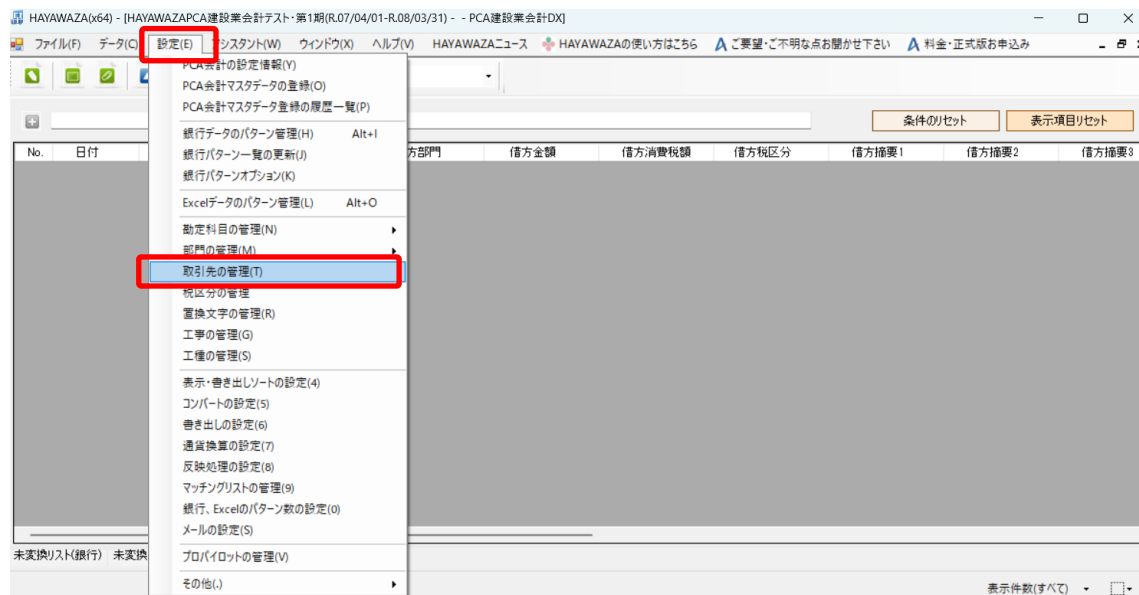
取引先マスタを登録すると、HAYAWAZA で取引先を出力することができます。

※HAYAWAZA 上では、取引先の項目（列）がないため、代わりに摘要欄を取引先として扱います。

（１）パターン設定の際に借方摘要 1～3、貸方摘要 1～3のうち、取引先として扱う項目を決めていただき、元データの取引先の列（またはセル）を指定してください。

仕訳No.	日付	金額	消費税額	借方科目	借方部門	借方税区分	借方税率	借方摘要	貸方科目	貸方部門	貸方税区分	貸方税率	貸方摘要
☒ 「摘要1」列指定: 現在の選択を「摘要1(借方)」に設定 ☐ 「摘要1」を入力: ☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定 ☐ 空欄の摘要は、直前を使用 ☐ Excelシート名を「摘要1」に指定 ☐ 「摘要1」を指定しない ☐ 「摘要2」列指定: 現在の選択を「摘要2(借方)」に設定 ☐ 「摘要2」を入力: ☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定 ☐ 空欄の摘要は、直前を使用 ☐ Excelシート名を「摘要2」に指定 ☒ 「摘要2」を指定しない ☐ 「摘要3」列指定: 現在の選択を「摘要3(借方)」に設定 ☐ 「摘要3」を入力: ☐ 半角変換 ☐ 全角変換 未設定 ☐ 空欄の摘要は、直前を使用 ☐ Excelシート名を「摘要3」に指定 ☒ 「摘要3」を指定しない													

（２）「設定」→「取引先の管理」より、取引先として出力する摘要を設定します。



取引先の管理

取引先オプション

取引先オプション

☒ 「借方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「借方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☐ 「借方摘要3」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要3」を「取引先」として書き出しする

比較オプション

☒ 部分一致で取引先を検索する

☐ 空欄で区切った文字で取引先を検索しない

検索

取引先コード	取引先名(略称等)	名称等	適格請求書発行事業者番号

閉じる

上記設定を行うと、指定した摘要を取引先として扱い、取引先マスタとのマッチングが可能となります。

取引先は基本的に自動でマッチングされます。

マッチングされない取引先に関しましては、手動での登録が必要となります。

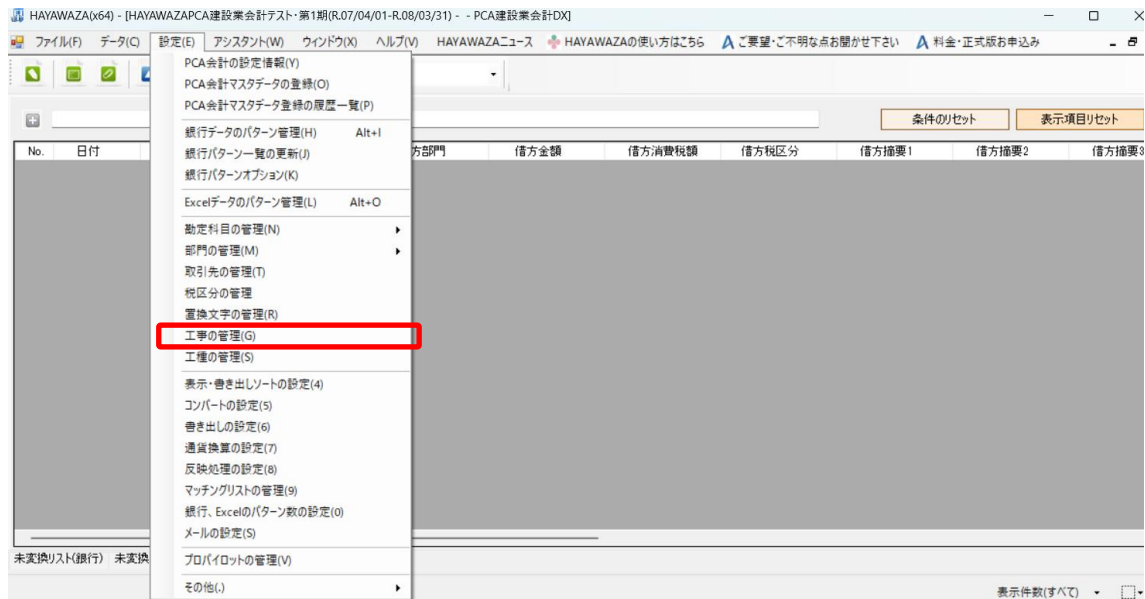
取引先マッチングについては、別紙「[取引先のマッチングについて](#)」を参照してください。

5. 工事・工種コードの設定

HAYAWAZA では、摘要として読み込んだ文字列を工事コードや工種コードに紐づけることで、PCA 建設業会計 DX への書き出しが可能になります。

今回は工事コードで説明をします。

HAYAWAZA で事業所を開き、「設定」>「工事の管理」を選択します。



以下の画面が表示されるので、「設定」のタブを開きます。

この画面で、パターンごとに摘要として取り込んだ文字列を、工事コードとして出力する設定をします。

パターン名を選択し、「摘要の関連付け」の「上記の選択されているパターンの右の摘要を工事情報と関連付ける」のプルダウンから工事コードが取り込まれる摘要を選択します。選択したら「設定する」で登録できます。



※設定後も、選択した摘要は、摘要の文字列としても書き出されます。
摘要としての出力が不要な場合は、「設定」→「書き出しの設定」から設定いただくか、後述の書き出しオプション画面でチェックを外してください。
[参考）パターン毎の書き出し・メモの個別設定機能](#)

6. 書き出し準備

PCA 建設業会計 DX 版では、自動連動は行われないので、HAYAWAZA で仕訳データを出し、PCA 建設業会計 DX で取り込み処理を行う必要があります。

仕訳エディタにすべての仕訳を反映させ、書き出しを選択すると、以下の画面が表示されます。この画面で書き出しオプションを設定することができます。

※画面左上の書き出し件数には、現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

・書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」:

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合にチェックを入れます。

「すでに書き出された仕訳データを対象」:

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。

仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより再度書き出しを行うことができます。

R.07/04/01~R.08/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

決修仕訳オプション

- ☐ 決修仕訳を出力する

出力内容オプション

- ☐ ファイルにバージョンを出力しない
- ☐ 伝票番号を出力しない

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日

入力プログラム区分

130303式 [受入条件の表示](#)

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・出力後オプション

「書き出した仕訳を削除する」

仕訳の書き出しを行っても HAYAWAZA の中にデータが残っており、再度書き出しを行う事が出来ますがこちらのチェックを付けると書き出しと同時に仕訳を削除し、HAYAWAZA にデータは残りません。

「ゴミ箱の仕訳を削除する」

ゴミ箱に隔離している仕訳を書き出しと同時に自動で削除します

R.07/04/01~R.08/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

決修仕訳オプション

- ☐ 決修仕訳を出力する

出力内容オプション

- ☐ ファイルにバージョンを出力しない
- ☐ 伝票番号を出力しない

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日

入力プログラム区分

1コクヨ式 [受入条件の表示](#)

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3
- 連結文字: 半角スペース
- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない
- ☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・決修仕訳オプション

すべての仕訳を決算仕訳として出力したい場合に設定します。

R.07/04/01～R.08/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

決修仕訳オプション

- ☐ 決修仕訳を出力する

出力内容オプション

- ☐ ファイルにバージョンを出力しない
- ☐ 伝票番号を出力しない

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日

入力プログラム区分

1コクヨ式 [受入条件の表示](#)

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

[書き出す\(Y\)](#) [キャンセル\(N\)](#)

・出力内容オプション

「ファイルにバージョンを出力しない」

「伝票番号を出力しない」

仕訳ファイルにバージョンや伝票番号を出力したくない場合はこちらを設定します。

R.07/04/01～R.08/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

決修仕訳オプション

- ☐ 決修仕訳を出力する

出力内容オプション

- ☐ ファイルにバージョンを出力しない
- ☐ 伝票番号を出力しない

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日

入力プログラム区分

1コクヨ式 [受入条件の表示](#)

摘要への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

[書き出す\(Y\)](#) [キャンセル\(N\)](#)

仕訳のインポート以外に「現金出納帳」もしくは「預金出納帳」の取込をしたい場合、タブから選択します。

Copyright©2025 HAYAWAZA Corporation. All Rights Reserved.

・「摘要オプション」

HAYAWAZA では摘要を借方・貸方でそれぞれ 3 つまで設定できますが、PCA 建設業会計 DX 版の摘要は一つとなります。HAYAWAZA から出力する際は、6 つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。

HAYAWAZA で入力されていてもこのチェックが外れている場合は出力されません。

摘要は「借方摘要 1～3」、「貸方摘要 1～3」の順に連結されます。

書き出したい摘要にチェックをつけます。

「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。

「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。

「連続する空白を空白に置換」

摘要を連結した際に、複数の空白を削除します。

「重複する摘要は出力しない」

同じ摘要が入った場合、一方のみを出力するようにします。

「連結文字の前後に摘要がないとき、連結文字を使用しない」

摘要に入力がない場合は、連結文字が出力されないようにします。

R.07/04/01~R.08/03/31

書き出しの件数: 44 件

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2025年 4月 1日 ~ 2026年 3月31日

入力プログラム区分

1: 科目別 [受入条件の表示](#)

摘要への書き出しオプション

☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1

☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2

☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換

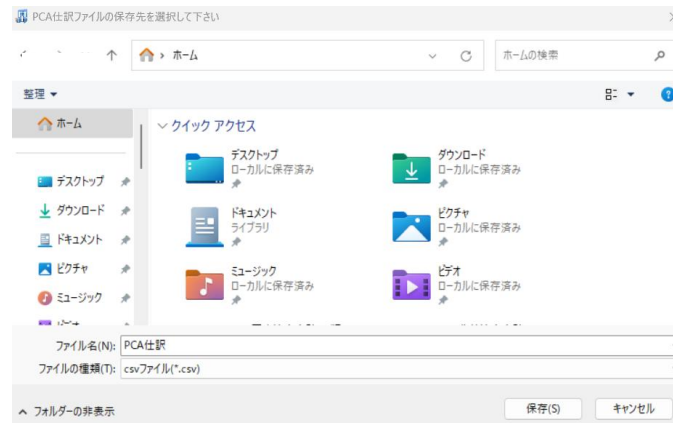
☐ 重複する摘要は出力しない

☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。



保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。

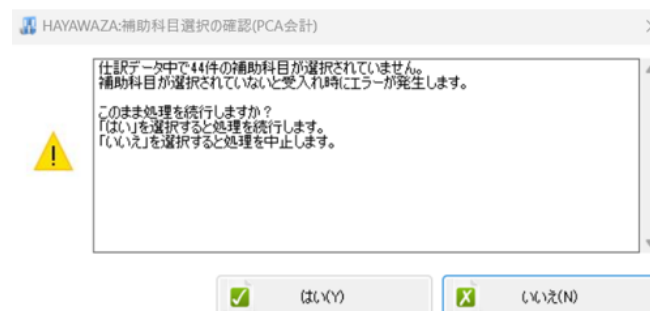
このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。



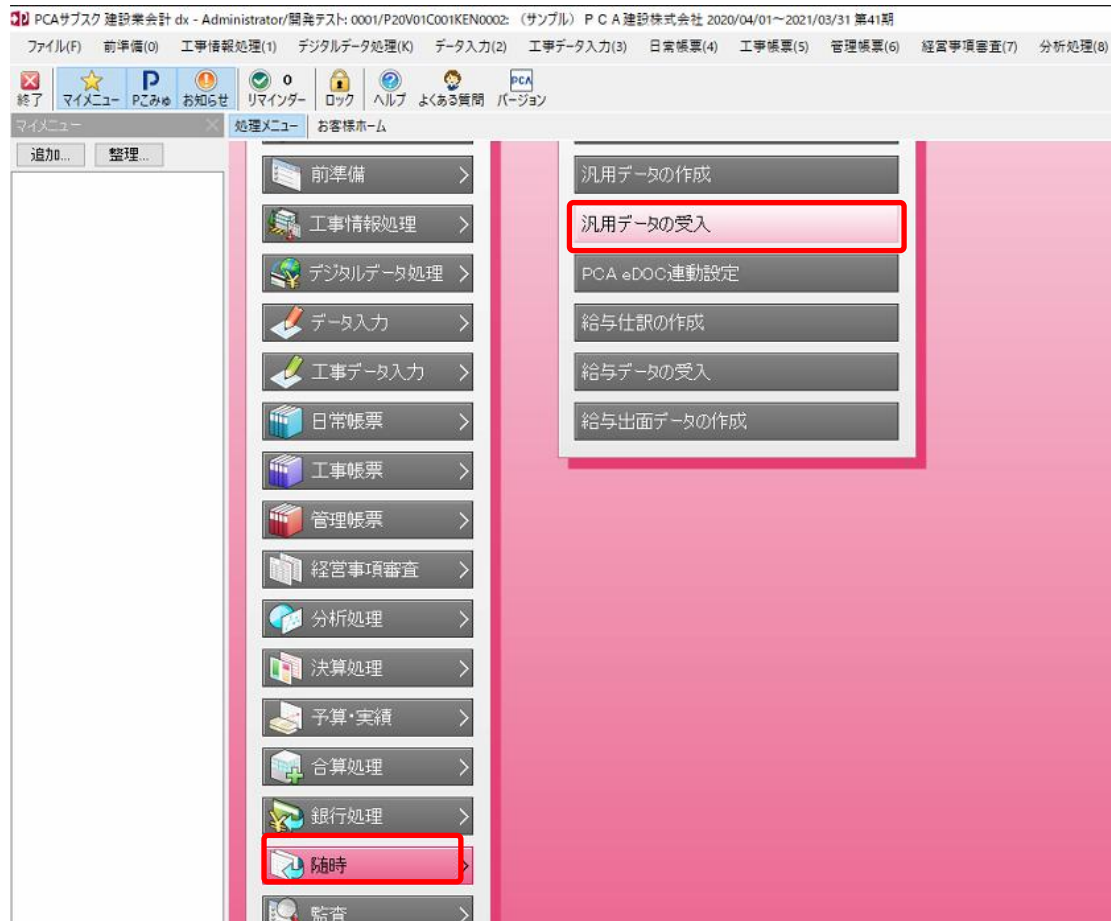
- 補助科目の確認

書き出しボタンをクリックした後に以下の画面が表示される場合は、補助科目が入力されていない仕訳があります。PCA 建設業会計 DX 版は補助科目が選択されていない仕訳がある場合、受入時にエラーとなりますのでご注意ください。

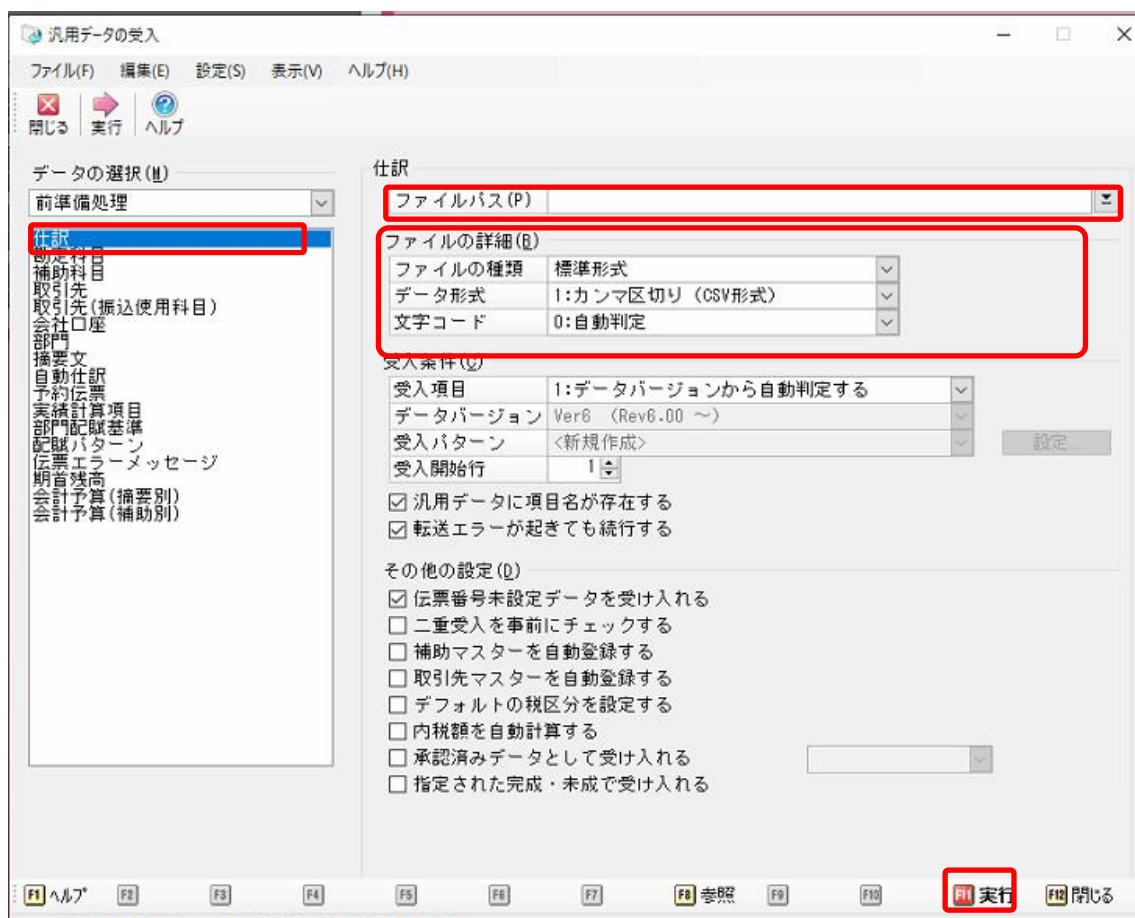


7. 仕訳データの取込

PCA 建設業会計 DX の「随時」→「汎用データの受入」を選択します。



以下の画面が表示されたら以下の項目について設定します。



- データの選択→仕訳
- ファイルパス→HAYAWAZA から出力したデータを指定
- ファイルの種類→標準形式
- データ形式→1.カンマ区切り（CSV 形式）」
- 文字コード→0:自動判定

設定を確認した後、「実行」ボタンを選択して受け入れを行うと取込が完了です。
仕訳帳などでご確認下さい。

以上